



成果指標				
成果指標	国民健康保険税収納率			
指標設定の考え方	自主財源確保の観点から、現年分・滞納繰越分を併せた収納率を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	84.45%	84.45%	84.45%	0
実 績	83.78%	83.5%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	税負担の公平性を保ち、納税者からの信頼を高めるとともに税収の確保を図るため、滞納者個々の滞納原因等の状況を把握して納付指導を強化するとともに、税収確保重点期間を設けるなどして、徹底した財産調査及び積極的な滞納処分の実施を継続する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	相互扶助の精神により成立する国民健康保険制度であり、この制度を支える国民健康保険税は負担の公平を保つことが必要であり、そのためにも納税者から信頼を得られる賦課徴収が必須である。滞納者に対しては、引き続き保険給付係と連携を図りながら、納税指導等の強化を図り徴収率アップに努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題